

市長公約の取組状況

(20年度～21年度の実施内容)

平成21年5月
苫小牧市

市長公約の取組状況を公表します

私は、市長選挙に当たって、5つの基本政策を柱とする30項目にわたる公約を掲げました。この公約は、4年間の任期中に達成しなければならない市民の皆さんとの約束でありますので、市の施策として着実に取り組むとともに、市民の皆さんに各年度の取組状況をお示してまいります。今後も、引き続き公約に関連した施策を積極的に推進し、すべての公約の達成に向けてまい進してまいります。

～ ～ ～ 目 次 ～ ～ ～

市長公約の取組状況について	P 1
---------------	-----

1 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！	
第3次行革計画、財政健全化プランなどの現行計画を検証し、これからの苦小牧に必要な新たな行財政改革計画を策定します	P 3
ごみ収集の民間委託、市営バスの民間移譲、学校給食センターの民間委託について取り組み、各種業務の委託化を推進し、民間活力を積極的に取り入れたコンパクトな行政を目指します	P 3
周辺自治体との連携を強め、それぞれの特色を生かせる広域活性化戦略を進めます	P 4
地方分権に対応できる自治体として必要な条例・制度の整備を行います	P 4
指定管理者制度を進め効率的運営と市民サービスの拡充に努めます	P 5
21世紀の苦小牧を描く新たな基本構想に着手し、総合計画を策定します	P 5

2 自然を生かし、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！	
リサイクルの推進とごみの減量化を図ります	P 6
京都議定書に基づく地域での推進計画を策定し、環境破壊から苦小牧を守ります	P 6
第58回全国植樹祭を成功させ、緑と花のまちづくりを進めます	P 7
美々川流域の自然環境保全地域指定に向けた活動を続けていくとともに、水質汚染や騒音への監視をしていきます	P 7
上下水道事業の将来計画を定め、快適な都市機能を維持します	P 8
環境にやさしいエネルギーの導入に向けて調査研究を進めます	P 8




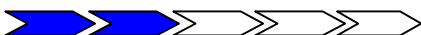
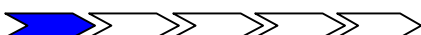
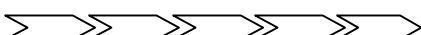
3 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苦小牧 導きます！		
苦小牧港の多様な港湾機能を高めるとともに、市民が親しめる港づくりを進めます	P 9	
交通・流通・医療・広域連携など様々な機能充実を図ることのできる、中央インターチェンジの建設に着手します	P 9	
トップセールスによる企業誘致を積極的に進め、雇用を確保し、地元中小企業の振興を図ります	P 10	
市域の東西バランスを図るとともに、市中心街への居住人口の増加策を進めます	P 10	
ビジット苦小牧観光会議の開催と体験型観光誘致を進めます	P 11	
地産地消 - 今後も農水産物の使用拡大について検討していきます	P 11	

4 お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！		
静和荘の改築、老人福祉センターの移転改築などにあわせ、複合的な施設の検討を進めます	P 12	
子育て、家事、介護をサポートする福祉のステーション作りを進めます	P 12	
障害者が安心して暮らせるまちづくりを目指し障害者自立支援事業を充実させます	P 13	
活火山を有する道内自治体との連携を火山サミットを通じて強化するとともに、災害時応援協定の充実を図ります	P 13	
新市立病院の救急体制の充実や市域の拠点病院として高度医療に取り組みます	P 14	
防犯、交通安全、弱者支援などのために地域の自主防災組織づくりを進め、地域の力の増強を図ります	P 14	

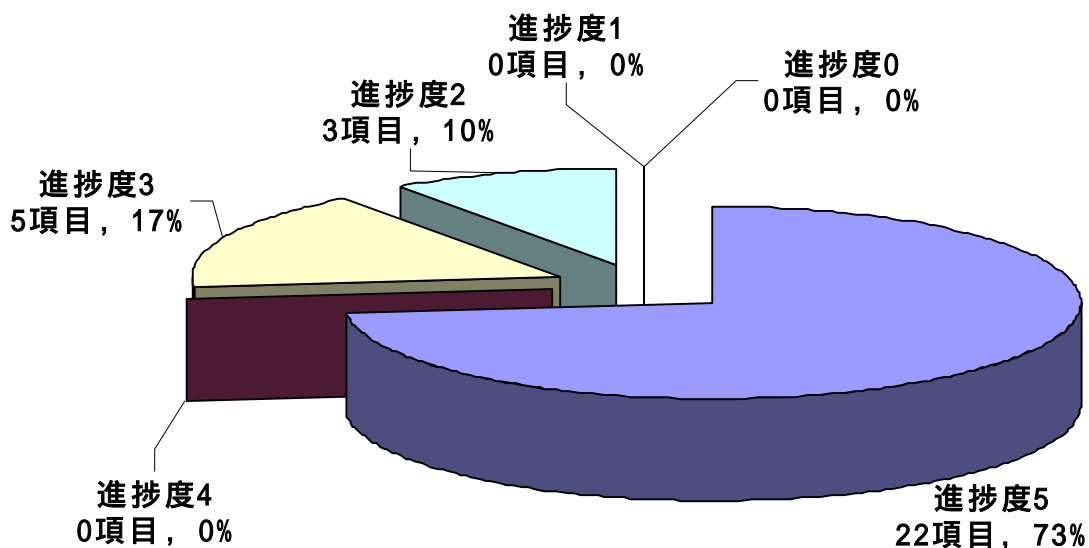
5 心の通い合う、やさしい音楽の流れる温かなまち苦小牧 愛します！		
「氷上の甲子園」（全国高校アイスホッケー大会）を充実発展させるとともに、苦小牧へのアイスホッケー留学について検討してまいります	P 15	
アルテンなどを会場に青少年の音楽祭やミュージックキャンプを開催します	P 15	
図書館・博物館運動を起こすとともに体育文化施設の改修計画を策定し、段階的にリニューアルを図ります	P 16	
特別支援教育を推進するための体制整備を図り、その内容を検討し、実施します	P 16	
公平、平等な社会の実現のための施策を推進します	P 17	
市民同士の国際交流を進め、国際都市苦小牧を育てます	P 17	

市長公約の取組状況について

各項目の進捗度の表示方法

進捗度：5		100%実施済（継続実施含む）
進捗度：4		70～90%程度実施
進捗度：3		50～60%程度実施
進捗度：2		30～40%程度実施
進捗度：1		10～20%程度実施
進捗度：0		未着手

進捗度総括（20年度実績）



20年度実績


- 約73%、22項目が実施済（完了）または、実施済（継続実施）の状況である。
- 約0%、0項目が7～9割程度の実施状況である。
- 約17%、5項目が5～6割程度の実施状況である。
- 約10%、3項目が3～4割程度の実施状況である。
- 1～2割程度の実施、または、未着手の項目はない。

市長公約取組状況一覧


平成21年4月1日現在

1 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！

第3次行革計画、財政健全化プランなどの現行計画を検証し、これからの苦小牧に必要な新たな行財政改革計画を策定します

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>行政改革については、「第3次行政改革推進計画」に基づき、着実に実施しました。一部、進捗の遅れはあるものの概ね計画通りの実施となっており、効果額は、21年度までの5力年で96億4千8百万円の目標値に対し、4力年で86億8千8百万円、90%の達成率となっています。</p> <p>財政健全化については、「新財政健全化計画（ローリング版）」に基づき、集中取組期間2年目として取組を進めました。健全化の道筋を示すために設定した3指標は、19年度決算において、目標値（経常収支比率91.0%、公債費比率19.4%、実質公債費比率17.2%）をいずれもクリア（90.7%、18.1%、12.4%）することができました。</p>	<p>行政改革については、「第3次行政改革推進計画」の未実施項目の実現に努めます。また、行政改革のあり方や方向性について行政改革推進懇話会へ諮問するとともに、その答申を踏まえて次期の行政改革推進計画を策定します。</p> <p>財政健全化については、「新財政健全化計画（再ローリング版）」に基づき、「集中取組期間」の最終年度として取組をさらに強化します。また、将来に向けて安定的で強固な財政基盤を確立するための「重点取組期間」とする次期の財政健全化計画を策定します。</p>	ソフト	<p>総務部行政改革推進室</p> <p>財政部財政課</p>


ごみ収集の民間委託、市営バスの民間移譲、学校給食センターの民間委託について取り組み、各種業務の委託化を推進し、民間活力を積極的に取り入れたコンパクトな行政を目指します

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>ごみ収集業務については、4台分を民間に委託するとともに、21年度からの委託拡大について、取組を進めました。</p> <p>市営バスについては、「受委託事業者選定委員会」を設置し、民間移譲に関する市の基本姿勢・基本方針について意見などをいただきました。</p> <p>学校給食センターについては、新調理場の移転新築へ向け、設計と地質調査を行うとともに、調理業務の方式について、検討を開始しました。</p> <p>高砂下水処理センターについて、平日の夜間及び休日における運転管理業務を民間に委託しました。</p>	<p>ごみ収集業務については、2台分の民間委託拡大を目指し、取組を進めます。</p> <p>市営バスについては、将来にわたって市民の足を守っていくため、24年度からの民間移譲に向けた取組を精力的に進めます。</p> <p>学校給食センターについては、新調理場の移転新築工事を着工するとともに、調理業務について、直営、民間委託それぞれの運営体制や安全管理体制、運営費などを比較検討します。</p> <p>高砂下水処理センターについて、民間委託業務の早期拡大に向けて取組を進めます。</p>	ソフト	<p>総務部行政改革推進室</p> <p>環境衛生部 清掃事業課</p> <p>交通部総務課</p> <p>学校教育部 学校給食共同調理場</p> <p>上下水道部 総務課</p>


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

周辺自治体との連携を強め、それぞれの特色を生かせる広域活性化戦略を進めます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「オールいぶりフェア」や「東胆振地産地食フェア」などの周辺自治体と連携したイベントを引き続き開催したほか、12月には、新たな広域戦略として、太平洋側沿線における高速鉄道の在り方を協議し、胆振管内における経済発展に資することを目的とした、管内全自治体で構成する「いぶり次世代鉄道政策研究会」を設立しました。</p>	<p>「東胆振地産地食フェア」や「東胆振物産まつり」などの周辺自治体と連携したイベントを引き続き開催するほか、「いぶり次世代鉄道政策研究会」において、鉄道政策のみならず、胆振管内における幅広い課題について検討・協議します。</p>	ソフト	総合政策部 政策推進課


地方分権に対応できる自治体として必要な条例・制度の整備を行います

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「自治基本条例」の主要な項目の実現に向け、全庁的な取組を進めるとともに、市民自治のまちづくりを具体的な取組として実践するため、「市民参加条例」を制定しました。また、シニア世代のまちづくりに対する意向を把握するため、団塊の世代の市民1千人を対象としたアンケート調査を実施しました。</p> <p>【予算計上した事業】 市民自治推進事業：500千円</p>	<p>4月から施行する「市民参加条例」の啓発事業として、市民自治に関する川柳や短歌などの募集により、市民参加の体験を促進するほか、市営バスにポスターを掲載し、条例を広く市民に周知します。また、市民参加の取組の一環である住民投票制度のあり方について、市民参加フォーラムやワークショップを通じて、市民の意見をいただきながら検討を進めます。</p> <p>【予算計上した事業】 市民自治推進事業：500千円</p>	ソフト	総合政策部 市民自治推進課


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

指定管理者制度を進め効率的運営と市民サービスの拡充に努めます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>更新2施設（ときわスケートセンター、屋内ゲートボール場）と新規1施設（ウトナイ交流センター）において、指定管理に係る公募及び選定作業を実施しました。しかし、新たに指定管理者制度の導入を予定していた3施設（文化交流センター、勤労青少年ホーム、川沿体育館）については、導入を見送ることとなりました。</p>	<p>指定管理者制度の拡大を図るため、20年度に導入できなかった新規3施設（文化交流センター、勤労青少年ホーム、川沿体育館）について、22年度の導入を目指し取組を進めるほか、更新51施設において、公募及び選定作業を実施します。</p>	ソフト	総務部行政改革推進室

21世紀の苫小牧を描く新たな基本構想に着手し、総合計画を策定します


20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>基本構想に掲げる「人間環境都市」の実現に向けた、まちづくりの指針となる「第5次基本計画」と「第1期実施計画」に基づき、各施策に取り組みました。</p>	<p>引き続き、「第5次基本計画」と「第1期実施計画」に基づき、各施策に取り組むとともに、22年度から3カ年を計画期間とする「第2期実施計画」を策定します。</p>	ソフト	総合政策部政策推進課

市長公約取組状況一覧


平成21年4月1日現在

2 自然を生かし、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！

リサイクルの推進とごみの減量化を図ります

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「053大作戦」の考え方を継承した取組を実施するとともに、「資源回収団体奨励金制度」の新設により、集団回収活動の推進に努めるなど、ごみの減量化とリサイクルの推進を図りました。</p> <p>【予算計上した事業】 053（ゼロごみ）推進事業：3,000千円 資源リサイクル運動推進事業：8,000千円</p>	<p>引き続き、資源回収団体奨励金やリサイクルハウス設置助成などにより、集団回収活動を支援するとともに、新たにecoボックスの設置による資源品目の拡大や生ごみ堆肥化容器の助成拡大、もったいない運動などを実施し、3Rの推進を図ります。</p> <p>【予算計上した事業】 ecoライフ大作戦～053ステージ2～：23,200千円</p>	ソフト	<p>環境衛生部 減量対策課</p> <p>環境衛生部 清掃事業課</p>


京都議定書に基づく地域での推進計画を策定し、環境破壊から苦小牧を守ります

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>市域全体の温室効果ガス排出量削減を目指す「地球温暖化対策地域推進計画」を策定しました。</p> <p>【予算計上した事業】 地球温暖化対策地域推進計画策定事業：3,000千円</p>	<p>ecoライフ大作戦を展開する中で、「地球温暖化対策地域推進計画」に掲げるペレットストーブの購入助成やCO2削減パンフレットの全戸配布など、地球温暖化対策を推進します。</p>	ソフト	<p>環境衛生部 環境保全課</p>


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

第58回全国植樹祭を成功させ、緑と花のまちづくりを進めます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>全国植樹祭会場跡地で森林づくりフォーラムを開催しました。また、市民参加による公園などの植栽や花壇造成のほか、花壇・花づくり講習会やコンテストを通じ、グリーンフルプラン21の普及・啓発活動を行い、緑と花のまちづくりを進めました。</p>	<p>市民参加による公園などの植栽や花壇造成のほか、花壇・花づくり講習会やコンテストを通じ、グリーンフルプラン21の普及・啓発活動を行い、緑と花のまちづくりを進めます。</p>	ソフト	都市建設部 緑地公園課


美々川流域の自然環境保全地域指定に向けた活動を続けていくとともに、水質汚染や騒音への監視をしていきます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>美々川流域の自然環境保全地域指定については、重点要望事項として、北海道などの関係機関へ要望しました。</p> <p>大気・水質・騒音などの環境監視については、常時及び定期的に測定するとともに、大気汚染・水質測定機器の更新や移動式航空機騒音測定装置を増設し、監視体制を強化しました。</p> <p>【予算計上した事業】 公害測定機器整備事業費：6,300千円</p>	<p>美々川流域の自然環境保全地域指定については、引き続き重点要望事項として関係機関へ要望します。</p> <p>大気・水質・騒音などの環境監視については、常時及び定期的に測定するとともに、大気汚染の測定を補完する温度・湿度などの気象観測機器を更新します。また、「公害防止マニュアル」に基づき、発生源対策をはじめ、監視体制や情報公開などの強化を図ります。</p> <p>【予算計上した事業】 公害測定機器整備事業費：4,500千円</p>	ソフト	環境衛生部 環境生活課 環境衛生部 環境保全課


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

上下水道事業の将来計画を定め、快適な都市機能を維持します

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>将来に向けて持続可能な水道を目指し、19年度に策定した「水道ビジョン」に基づく水道施設の更新事業や耐震化事業などを実施しました。</p>	<p>「水道ビジョン」に基づく事業を引き続き実施し、将来に向けて持続可能な水道を目指します。</p>	ソフト	上下水道部 総務課

環境にやさしいエネルギーの導入に向けて調査研究を進めます


20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>市民団体とともに講演・実演会を開催し、新エネルギーに関する調査・研究を進めました。また、廃食油を再利用したBDF燃料をごみ収集車に利用するとともに、低公害車を1台導入しました。</p>	<p>市民団体との懇談会や講演会を開催し、新エネルギーに関する調査・研究を進めます。また、「新エネルギービジョン」に沿って、施設などへの新エネルギー導入について検討します。</p>	ソフト	産業経済部 工業労政課

市長公約取組状況一覧

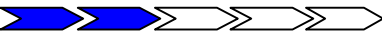
平成21年4月1日現在

3 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苫小牧 導きます！

苫小牧港の多様な港湾機能高めるとともに、市民が親しめる港づくりを進めます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>東港区については、国際コンテナターミナル機能を東港区へ一括シフトするとともに、引き続き中央ふ頭多目的国際ターミナル関連施設や耐震強化岸壁の整備を進めました。</p> <p>西港区については、既存岸壁の老朽化対策やふ頭間道路の整備をするほか、漁港区の拡張に向けた調査・設計に着手しました。</p> <p>市民が港に親しめる親水空間として、北ふ頭緑地の整備を継続しました。</p> <p>【予算計上した事業】 苫小牧港管理組合負担金 ：1,487,849千円</p>	<p>東港区については、中央ふ頭の国際コンテナターミナルの連続バース化を進めるとともに、耐震強化岸壁や背後地のターミナル機能の整備に取り組みます。</p> <p>西港区については、既存岸壁の老朽化対策やふ頭間道路の整備をするほか、漁港区の拡張に向けた整備を進めます。</p> <p>海の自然や港の魅力にふれあい、快適に利用できる親水空間として、引き続き北ふ頭緑地を整備するとともに、大型客船寄港の誘致活動を行い、親しまれる港づくりを進めます。</p> <p>【予算計上した事業】 苫小牧港管理組合負担金 ：1,466,594千円</p>	ハード	産業経済部 企業立地課


交通・流通・医療・広域連携など様々な機能充実を図ることのできる、中央インターチェンジの建設に着手します

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>中央インターチェンジ設置予定地周辺の環境調査などを進めるするとともに、北海道に対し、事業主体となって建設していただけるよう、東胆振管内1市4町の首長及び議会議長で構成する苫小牧地方総合開発期成会において、経済界関係者とともに、北海道知事に要望書を提出しました。</p> <p>【予算計上した事業】 苫小牧中央インターチェンジ 調査業務 ：17,000千円</p>	<p>引き続き、橋梁予備設計や北海道をはじめ関係機関との具体的な協議を進めるとともに、国に中央インターチェンジの連結許可を申請します。</p> <p>【予算計上した事業】 苫小牧中央インターチェンジ 調査業務 ：12,500千円</p>	ハード	都市建設部 道路河川課


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

トップセールスによる企業誘致を積極的に進め、雇用を確保し、地元中小企業の振興を図ります

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>工業団地の優位性や企業立地助成優遇措置などを強くPRする誘致活動を展開し、トップセールスでは3回で16社、市単独及び苫小牧地区連絡協議会では120社を訪問しました。また、工業団地視察会を開催し、道内外から15社に参加していただきました。</p>	<p>引き続き、トップセールス及び苫小牧地区企業誘致連絡協議会による企業訪問活動や工業団地視察会、本州で開催される企業誘致関連フェアへの参加など、誘致活動を積極的に展開します。</p>	ソフト	産業経済部 企業立地課

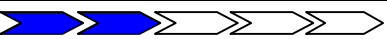
市域の東西バランスを図るとともに、市中心街への居住人口の増加策を進めます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>市域の東西バランスについては、地域の実態と均衡に即した公共施設の整備を進めるとともに、現状の土地利用の実態や動向を検証し、用途地域の変更を検討する地区の抽出などを行いました。</p> <p>中心市街地については、旭町道管住宅の寿町への移転、建替工事に着手しました。また、市中心部への居住需要を把握するため、「まちなか居住に関するアンケート調査」を実施し、まちなか居住を推進するための検討を進めました。</p>	<p>市域の東西バランスについては、地域密着型サービスであるグループホーム等の設置を地域の実態と均衡に即して行うとともに、都市計画用途地域の見直しの検討を行うなど、東西バランスに配慮したまちづくりを進めます。</p> <p>中心市街地については、「まちなか居住に関するアンケート調査」の結果を参考に、まちなか居住を促進する方策の検討を進めます。</p>	ソフト	総合政策部 まちづくり 推進課


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

ビジット苦小牧観光会議の開催と体験型観光誘致を進めます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「ビジット苦小牧観光会議」の立ち上げへ向け、関係機関との協議を進めました。また、体験型・学習型モデルコースの普及を図り、体験型観光の取組を推進するとともに、関係機関と連携した海外マスコミ招聘事業を通じて、体験観光の魅力をアピールし、外国人観光客の誘致促進を図りました。</p>	<p>「ビジット苦小牧観光会議」を設置し、苦小牧観光の推進を図るとともに、体験型観光誘致については、関係団体との連携により、アルテンやノーザンホースパークなど、体験型施設の積極的なPRに努めます。</p> <p>【予算計上した事業】 ビジット苦小牧観光会議設置事業 ：200千円</p>	ソフト	産業経済部 商業観光課

地産地消 - 今後も農水産物の使用拡大について検討していきます

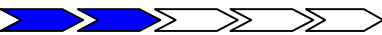
20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「東胆振物産まつり」や「東胆振地産地食フェア」、「ホッキフェスタ」などのイベントを通じて、地産地消の取組を推進するとともに、学校給食において、ホッキ貝や胆東米などの地元産品の使用拡大を図りました。</p>	<p>引き続き、各種イベントを通じて、地産地消の大切さを広くPRするほか、関係団体などとともに、地産地消の取組をさらに推進するための方策について検討します。</p>	ソフト	産業経済部 農業水産課

市長公約取組状況一覧


平成21年4月1日現在

4 お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！

静和荘の改築、老人福祉センターの移転改築などにあわせ、複合的な施設の検討を進めます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>養護老人ホーム静和荘については、移管先法人を公募・選定し、21年4月より社会福祉法人緑陽会に移管することに決定しました。</p> <p>老人福祉センターについては、旧市立総合病院南棟を複合施設として転用した「苦小牧市教育・福祉センター」に移転し、「高齢者福祉センター」として21年4月にオープンすることとなりました。</p> <p>【予算計上した事業】 養護老人ホーム静和荘移管事業 : 300千円 旧市立総合病院南棟改修事業 : 1,017,700千円</p>	<p>養護老人ホーム静和荘については、4月から社会福祉法人緑陽会に移管し、本市初となる民設民営方式により、施設整備の基本方針である居宅介護サービスにも対応した複合施設として、23年4月オープンを目指し整備を進めます。</p> <p>高齢者福祉センターについては、4月からオープンし、各種相談や健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための施設として、各種講座の充実に努めます。</p>	ハード	保健福祉部 介護福祉課 保健福祉部 高齢者福祉センター


子育て、家事、介護をサポートする福祉のステーション作りを進めます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>子育て、家事をサポートするステーション作りについては、「苦小牧市教育・福祉センター」に開設する市内4カ所目となる「とまこまい子育て支援センター」のオープンに向けた準備を進めました。</p> <p>介護をサポートするステーション作りについては、日常生活圏域を7圏域に再編成し、各圏域に地域介護の拠点となる「地域包括支援センター」を設置するための基本計画を策定しました。また、各地域包括支援センターと介護保険課とのネットワークシステムを構築し、介護予防を目的とした情報交換機能を強化しました。</p>	<p>子育て、家事をサポートするステーション作りについては、4月から「とまこまい子育て支援センター」を開設し、子育て相談や、プレイルーム・親子ふれあいルームの開放、子育てサークルルームの貸出などにより、子育て家庭やサークル活動への支援を推進します。</p> <p>介護をサポートするステーション作りについては、地域包括支援センターを4カ所増設し、再編成した日常生活7圏域に各1カ所設置することにより、高齢者に対するより良い支援を目指します。</p>	ソフト	保健福祉部 子育て支援課 保健福祉部 介護福祉課


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

障害者が安心して暮らせるまちづくりを目指し障害者自立支援事業を充実させます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>地域生活支援事業を充実するため、新たに障害者就労相談員を配置し、就労支援体制を強化しました。また、委託による専門的職員の配置や相談室などを整備し、障がい者やその家族に対して、相談や情報提供、助言、その他障がい福祉サービスなどの必要な支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を支援しました。</p>	<p>引き続き、障害者就労相談員や委託による専門的職員を配置し、地域生活支援事業の充実に努めます。また、地域における障がい福祉に関するネットワークの中核となる「地域自立支援協議会」の活動の充実を努め、就労支援体制のさらなる強化を図ります。</p>	ソフト	保健福祉部 社会福祉課


活火山を有する道内自治体との連携を火山サミットを通じて強化するとともに、災害時応援協定の充実を図ります

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>火山サミットについては、21年1月に開催された「十勝岳火山防災フォーラム」に参加し、関係自治体との連携を強化しました。</p> <p>災害時応援協定については、20年5月に「北海道コカ・コーラボトリング(株)」と災害時の飲料供給などを目的とした応援協定を締結しました。</p>	<p>火山サミットについては、今後も道内の火山のある地域で継続的に開催し、関係自治体との連携を強化します。</p> <p>災害時応援協定については、今後も関係団体との応援協定締結を促進し、防災体制の充実を努めます。</p>	ソフト	市民生活部 危機管理室


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

新市立病院の救急体制の充実や市域の拠点病院として高度医療に取り組みます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>夜間・休日急病センターとの機能分担を進めるとともに、二次医療提供が必要な救急患者に対して、速やかな治療が可能となるよう、関係スタッフの確保と体制強化を行い、救急体制の充実を図りました。また、放射線治療装置による治療を開始するなど、高度医療の充実に取り組みました。</p> <p>【予算計上した事業】 医療器機器具整備：42,000千円</p>	<p>東胆振・日高圏域の中核病院として、高度医療や救急医療への使命を果たしていくとともに、新生児集中治療室（NICU）を持つ地域周産期センターとして、ハイリスク妊婦・分娩などに対する医療の充実に努めます。</p> <p>【予算計上した事業】 医療器機器具整備：33,500千円</p>	ソフト	市立病院

防犯、交通安全、弱者支援などのために地域の自主防災組織づくりを進め、地域の力の増強を図ります


20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>自主防災組織の活動に対する新たな助成金制度の創設や、自主防災組織リーダーの育成を目的とした市民防災講座を開催するとともに、防犯パトロール用具の貸出、防犯だより・ホームページを活用した防犯情報の提供など、自主防犯パトロール隊の活動を支援しました。また、幼稚園・保育園・小学校のほか、高校や老人クラブ、町内会などで交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーなど、市民意識の向上に努めました。</p> <p>【予算計上した事業】 自主防災組織育成事業：500千円</p>	<p>自主防災組織の活動に対する助成金制度や、自主防災組織リーダー養成講座を開催するなど、組織の充実を図り、災害時要援護者支援に努めます。また、引き続き自主防犯パトロール隊の活動を支援し、地域の安全・安心に取り組むとともに、関係機関と連携し、交通安全教室の開催などを通して、交通ルール・マナーなど、市民の意識の向上に努めます。</p> <p>【予算計上した事業】 自主防災組織育成事業：500千円</p>	ソフト	市民生活部 危機管理室 市民生活部 安全安心生活課

市長公約取組状況一覧


平成21年4月1日現在

5 心の通い合う、やさしい音楽の流れる温かなまち苦小牧 愛します！

「氷上の甲子園」（全国高校アイスホッケー大会）を充実発展させるとともに、苦小牧へのアイスホッケー留学について検討してまいります

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「第3回全国高等学校選抜アイスホッケー大会」の開催にあたり、選抜チームの参加を可能にして、参加地域の拡大を図りました。また、敗者戦を実施し、試合数を増加したほか、開会式後にスキルコンテストを開催するなど、大会の充実発展に努めました。</p> <p>本市へのアイスホッケー留学については、ナショナルトレーニングセンター事業の活用などを検討しました。</p> <p>【予算計上した事業】 全国高等学校選抜アイスホッケー大会補助：7,000千円</p>	<p>「第4回全国高等学校選抜アイスホッケー大会」の開催にあたり、開催時期を港まつり期間にあわせることにより、観客動員数の増加を図ります。</p> <p>本市へのアイスホッケー留学については、ナショナルトレーニングセンター事業を通じ、新たに全国の小・中・高校生を対象とし、年代別のスキルアップと選手の発掘育成を目的としたアイスホッケースクールを開催します。</p> <p>【予算計上した事業】 全国高等学校選抜アイスホッケー大会補助：7,000千円</p>	ソフト	スポーツ生涯学習部スポーツ課


アルテンなどを会場に青少年の音楽祭やミュージックキャンプを開催します

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>市内の小中学生を対象として、新たに宿泊を取り入れ、プロの演奏家の指導のもとで演奏レベルの向上を図り、参加者同士の交流を深めることを目的とした「青少年ミュージックキャンプ」を開催しました。</p> <p>【予算計上した事業】 青少年ミュージックキャンプ事業：1,000千円</p>	<p>吹奏楽を中心に、パート及び参加者の増加を図るとともに、新たに合同演奏発表会を開催し、より充実したミュージックキャンプを目指します。</p> <p>【予算計上した事業】 青少年ミュージックキャンプ事業：1,000千円</p>	ソフト	スポーツ生涯学習部文化振興課


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

図書館・博物館運動を起こすとともに体育文化施設の改修計画を策定し、段階的にリニューアルを図ります

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>図書館・博物館運動については、図書館ボランティアや市民団体などと協働し、読み聞かせや様々な展示事業を実施するとともに、博物館と協力関係にある博物館友の会や苫小牧郷土文化研究会などの市民団体と各種事業に取り組むなど、市民参加による図書館・博物館事業を積極的に実施しました。</p> <p>体育文化施設の改修については、実施計画に基づき、総合体育館や川沿公園体育館のトレーニング機器の整備、白鳥アリーナのザンボニー修理、ハイランドスポーツセンターのブラインポンプ修理など、各施設の計画的な整備に努めました。</p>	<p>図書館・博物館運動については、引き続き、図書館ボランティアや市民団体、博物館友の会、苫小牧郷土文化研究会などと連携協力し、市民参加による各種事業に積極的に取り組みます。</p> <p>体育文化施設の改修については、引き続き実施計画に基づき、計画的に各施設のリニューアルを図ります。</p>	ソフト ・ ハード	<p>スポーツ生涯学習部中央図書館</p> <p>スポーツ生涯学習部博物館</p> <p>スポーツ生涯学習部スポーツ課</p>


特別支援教育を推進するための体制整備を図り、その内容を検討し、実施します

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>新たに錦岡小学校など4校に特別支援学級を設置するとともに、特別支援教育支援員4名を、適切な指導が必要な学校に配置しました。また、特別支援学級設置校を中心にエリアを構成し、エリア内の小中学校、幼稚園、保育園が相互に連携することにより、特別支援教育の充実を図りました。</p> <p>【予算計上した事業】 特別支援教育推進校内研修費：378千円 特別支援教育支援員配置事業：4,822千円 特別支援学級設置事業：24,000千円</p>	<p>新たに北光小学校など4校に特別支援学級を設置するとともに、特別支援教育支援員を4名増員して8名とし、適切な指導が必要な学校に配置します。また、新たに情緒障がいの生徒を対象とした通級指導教室を中学校3校、小学校1校に設置し、障がいの状況に応じた指導を実施します。</p> <p>【予算計上した事業】 特別支援教育支援員配置事業：9,644千円</p>	ソフト	<p>学校教育部指導室</p>


市長公約取組状況一覧

平成21年4月1日現在

公平、平等な社会の実現のための施策を推進します

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>「苫小牧市男女平等参画推進条例」に基づき、「とまこまい男女共同参画プラン21」を見直した「苫小牧市男女平等参画基本計画（第2次）」を新たに策定しました。</p> <p>【予算計上した事業】 男女平等参画基本計画策定業務 ：300千円</p>	<p>男女がともに家庭・学校・職場・地域社会などあらゆる分野で平等に参画することができる社会の実現を目指し、「苫小牧市男女平等参画基本計画（第2次）」に基づき、関連する施策を推進します。</p>	ソフト	市民生活部 男女平等参画課

市民同士の国際交流を進め、国際都市苫小牧を育てます

20年度の実施内容	21年度の実施予定内容	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>秦皇島市友好10周年市民交流事業として、市民104人が秦皇島市を訪問し、音楽、卓球、囲碁などによる交流を深めました。また、国際都市づくりを進める場として、庁舎内に国際交流サロンを開設したほか、足元からの国際交流を推進するため、在苫外国人との交流事業「ぐる〜りWORLD交流会」を開催しました。</p> <p>【予算計上した事業】 国際友好都市交流事業：3,200千円 こども国際交流事業：2,100千円 在苫外国人交流事業：5,100千円</p>	<p>ネーピア市との相互訪問交流として、4月にネーピア市訪問団が来苫するほか、秦皇島市との友好をサポートする人材を育成するため、友好都市サポーター育成事業を実施します。また、こども国際交流事業として、中学生15人を秦皇島市へ派遣します。</p> <p>【予算計上した事業】 国際友好都市交流事業：2,360千円 こども国際交流事業：2,700千円 在苫外国人交流事業：5,100千円</p>	ソフト	総合政策部 市民自治推進課